

食育だより

糸田町立糸田小学校
栄養教諭 安倍 ちか

田川郡学校給食会では、今年度次のような各種研修会等を予定しています。

7月23日に、調理員対象に学校給食における衛生管理及び食物アレルギーの対応について研修会を行います。どちらも児童生徒が待ち望む楽しい給食となるよう安全かつ安心な学校給食の提供を目指した内容です。特に、食物アレルギーについては、10年前より児童生徒の疾病率が1.7倍に、アナフィラキシーの既往率が、3.6倍に急増しています。また、多様な食品でアレルギーが発症しており、学校生活においても適切な対応が求められているところです。7月28日の学校給食担当者研修会では、「弁当の日」について福岡市立舞鶴小学校教諭の稲益義宏先生からご講演いただきます。「弁当の日」の意義は、『献立・買い出し・調理・弁当箱づめ・片づけなどの作業を通して子どもたちは、食べ物や生産者、食事を作ってくさる人への感謝の心を育み、自分で食事を作る力を培うことができ・・・』（ふくおか弁当の日より抜粋）と言われており、食に関する自己管理能力を育成する教育的効果が期待されています。最後に、田川郡学校給食研究発表会のご案内です。10月9日（金）に添田町立中元寺小学校で開催いたします。たくさんのご参加をお待ちしています。

養護だより

福智町立金田小学校
養護教諭 藤田 由美

田川郡学校保健会では、第一回の研修会として、7月9日の15時より総合庁舎において講演会の開催を予定しています。今回は、講師として、北九州市総合療育センター精神科外来に勤務されています下村泰斗先生を招聘し、「音楽療法」について講演いただきます。音楽を通して癒しの空間を体験できるのではないかと、また、いろんな悩みや問題を持っている子ども達にどのように生かせるか拝聴することができるかと期待しています。

2学期には、研修視察、3学期には第2回研修会として講演会を計画しています。

また、田川郡学校保健会養護研修会は、4つの部会に分かれ研修を行っています。今年度のテーマは、次の通りです。

- 1部 健康相談活用について
- 2部 職務の見直し
～データ化していこう～
- 3部 関係機関との連携
- 4部 関係機関との連携

今年度は、8月20日に福岡市でおこなわれる福岡県養護教員研修会夏期研修会の分科会で1部養護部会が発表します。

発表テーマ 健康相談について見直そう
～つながりを深めるために～

研修を重ね資質の向上に努めていきたいと思っております。

田川郡教育研究所

[所在地] 〒825-0002
田川市伊田松原通り 3292-2 田川総合庁舎 筑豊教育事務所田川駐在
[TEL・FAX] 0947-47-1081
[E-mail] tagawa-lab@fukuoka.email.ne.jp
[URL] http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/

所長 平野 志津夫
副所長 小峠 英人 (中津原小学校 校長) 副所長 重藤 公暢 (赤中学校 校長)
幹事 小峠 英人 (中津原小学校 校長) 書記 有田 真理子
主任指導員 藤田 昭介 (糸田小学校 教頭) 主任指導員 柴田 徹 (糸田中学校 教頭)
指導員 神崎 育子 (真木小学校 主幹教諭) 指導員 中野 純孝 (方城中学校 主幹教諭)
指導員 宮成 努 (香春小学校 主幹教諭) 指導員 長畑 理恵 (川崎中学校 主幹教諭)

田川郡教育研究所

所報

第110号

発行日 平成27年7月10日
発行所 田川郡教育研究所

所報発刊にあたって

所長 平野 志津夫

昨年度田川郡教育研究所におきましては、教育関係機関並びに田川郡の教職員の皆様のご支援とご協力によりまして、年度当初に計画致しました全ての研究及び研修事業を滞りなく実施することができました。研究所を代表致しまして、心よりお礼を申し上げます。

本年度も教職員の資質能力の向上を図る人材育成並びに児童・生徒の学力向上に資するとともに、教育の今日的課題の解決や各学校・教職員の要請に応える研究所を目指し、所員一同努めて参ります。どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

就任の挨拶

副所長兼幹事 香春町立中津原小学校 校長 小峠 英人

昨年に引き続き、本研究所の副所長を務めさせていただきます中津原小学校の小峠です。どうぞよろしくお願い致します。

ここ数年の田川郡の小中学校では、学力向上に力を注ぎその成果も確実に出てきているところですが、まだまだ厳しい状況であります。また、多くの学校に新任者が配属され、今後数年で若年教員が大幅に増加する状況になっています。

田川郡教育研究所では、この学力向上と、若年教員の育成に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。今後とも研究所へのご支援とご協力をよろしくお願い致します。

就任の挨拶

副所長 赤村立赤中学校 校長 重藤 公暢

本年度、本研究所の副所長を拝命いたしました赤中学校の重藤です。伝統ある本研究所の発展に向け、微力ではありますが努力していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

さて、本研究所では昨年度より教員の大量退職時代に備えるべく、若年教員を中心とした研修を取り入れています。本年度も各学校の人材育成の一助となるよう内容の充実を図っていきたく考えていますので、今後とも本研究所へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

平成27年度 研究員並びに担当校長《教科等部会》

[敬称略]

小 学 校			中 学 校		
教科等名	研究員名 (学校名)	担当校長名 (学校名)	教科等名	研究員名 (学校名)	担当校長名 (学校名)
国 語	國本 裕司 (糸田)	渡邊 伴子 (上野)	国 語	山下久美子 (鷹峰)	白石 毅 (大任)
社 会	牟田 佳史 (川崎東)	高瀬美智也 (香春)	社 会	坂本 尚之 (添田)	三賀山 宏 (香春)
算 数	千々岩 芳朗 (赤)	太田 亮一 (伊方)	数 学	今道 憲治 (鷹峰)	堀川 浩昭 (赤池)
理 科	藤川 和久 (池尻)	縄田 和之 (金田)	理 科	谷川 佑太 (勾金)	坂本 和紀 (鷹峰)
生活・総合	中村 賢代 (市場)	中川 真一 (真木)	音 楽	川原 典子 (方城)	友松 秀樹 (方城)
音 楽	宮村 雅代 (上野)	船瀬 安仁 (弁城)	美 術	真武 祐二 (鷹峰)	村上きぬよ (糸田)
図画工作	石川まゆみ (伊方)	小山 秀宣 (中元寺)	保健体育	佐々木佳子 (赤池)	高橋 孝徳 (添田)
家 庭	宮村 歩 (添田)	光井美登利 (落合)	技術・家庭	青柳 敏広 (鷹峰)	重藤 公暢 (赤)
体 育	光尾 浩太 (金田)	石堂 昌彦 (糸田)	外国語	田中 祥生 (赤)	縄田 哲也 (川崎)
道 徳	木村 直美 (勾金)	小峠 英人 (中津原)	道 徳	大塚 栄子 (勾金)	白石 毅 (大任)
外国語活動	松田 美穂 (勾金)	森 隆子 (池尻)	総 合	高柳 麻巳 (大任)	白石 俊幸 (金田)
特別活動	大久保利詔 (川崎東)	井上 憲治 (市場)	特別活動	植田 泰司 (方城)	重藤 公暢 (赤)

学力向上実践校の紹介【小学校】

学力向上を図るための取り組み

川崎町立真崎小学校

1 学習に向かう構えの構築

学力向上を図るにあたって、まず必要なことは子どもたちが落ち着いて学習に向かう構えを作ることである。すなわち、子どもたちが「学校が好き」「先生・友達が好き」「勉強が好き」という状態を作ることである。子どもの自己存在感・所属感が満たされ、その集団が規律ある自由が保障されているなら、子どもたちは間違いなく、学習に集中することができると考えている。

学習に向かう構えを構築するために日々以下のことに取り組んでいる。

(1) 一日の始まりを大切に

- ① 集団登校の確立・・・高学年のお世話で低学年もしっかりと歩いて登校することができる。
- ② 交通指導と出迎え・・・地域ボランティアの方と保護者の方が学校下道路のあたりに毎日立哨してくださり、子どもたちを出迎えている。さらに、校門下では校長、児童玄関では、教務、同担、養護が出迎え（職員室対応は教頭、事務）、挨拶とともにその日の様子を確認している。また、担任は児童到着時には、教室にいて子どもたちを迎える状態を作る。
このような1日のスタートを切ることで、子どもの自己存在感・所属感が満たされると考えている。

(2) 基本的な生活習慣の定着

- ① 言葉遣い・・・高学年をモデルとし、低学年でもしっかりと話すように仕向けていく。
- ② 生活のきまり・・・学校としてのルールを決め、定着するまでしっかりと指導をする。

2 学力向上をめざす授業改善

- (1) 主題研究の算数科研究において、日常の事象について見通しを持ち、筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。
- (2) 学習課題の提示の工夫
 - 問いを持たせる問題提示をする。
 - 解く必要感のある学習問題やその提示を行う。
- (3) 書く・操作する活動を通して考える力を高める場の工夫
 - かくこと・操作することが必要となる教材づくりを工夫する。
 - 自分の考えをかく活動を日常化し、ノート指導を積み上げる。
- (4) 学びあいを大切に授業展開の工夫をする。
 - わかったことや気づいたことをペアやまわりの友達と話し合ったり確認したりする。
 - 友達の考えやつぶやきの意味を全体で考えたり説明したりする時間をとる。
 - 日常的に聞き手を育てる。

3 学力の基礎を培う活動

- (1) 朝の学力アップタイム（8：25～8：40）
 - 漢字・計算・読書・・・各学年必修
 - ローマ字・国算プリント・音読・・・各学年に応じて
- (2) コモンルーム学習
 - ステップアッププリント（自分の課題に応じたものを選択実施 ← 担任外で○つけ応援）
- (3) 家庭学習の徹底
 - 100%提出に向けた取り組み・・・保護者啓発
 - 担任外教師による個別支援・・・その子に応じた課題の選択等

平成26年度 教育実践研究に関する研修会 受講者

◇主催：筑豊地区教育研究所連絡協議会

◇後援：筑豊教育事務所

[敬称略]

No.	26年度所属校名	職名	氏名	研究教科等
1	赤小学校	教諭	沖島 美恵子	小・特別活動(3年)
2	添田小学校	教諭	安藤 紗希	小・算数(5年)
3	川崎東小学校	教諭	安倍 和音	小・国語(4年)
4	上野小学校	教諭	山田 侑子	小・国語(6年)
5	香春中学校	教諭	鷲尾 佳子	中・道徳(全学年)

平成26年度 小・中学校授業エキスパート養成講座 受講者

◇主催：筑豊教育事務所

◇後援：筑豊地区教育研究所連絡協議会

[敬称略]

No.	26年度所属校名	職名	氏名	教科等	担当学年
1	赤小学校	教諭	犬丸 千春	国語	6学年
2	糸田小学校	教諭	山森 直哉	国語	3学年
3	糸田小学校	教諭	小西 陽子	算数	4学年
4	弁城小学校	教諭	楠木 文太郎	国語	6学年
5	上野小学校	教諭	中原 正文	算数	5学年
6	糸田中学校	教諭	徳永 章宏	数学	2学年
7	方城中学校	講師	崎山 尚志	外国語	3学年

教育論文の募集

◆田川郡教育研究所 教育論文

◇提出先等：平成28年1月15日（金）までに当該町村教育委員会教育長あてに提出
詳しくは、「田川郡教育研究所のホームページ」（<http://www.tagawa-lab.sakura.ne.jp/>）で閲覧できます。

◆ふくおか教育論文

◇提出先等：平成27年9月1日（火）までに当該町村教育委員会教育長あてに提出
詳しくは、「義務教育課各種資料のページ」（<http://gimu.fku.ed.jp>）で閲覧できます。

平成26年度 ふくおか教育論文 応募者・入賞者

[敬称略]

No.	26年度所属校名	職名	氏名	応募部門	応募内容	受賞
1	大任小学校	教諭	有竹 真吾	学校教育	国語	優良賞
	『主体的にテキストにかかわり、読む力を高める第5学年国語科「読むこと」の指導』					
2	真木小学校	教諭	宮村 歩	学校教育	算数・数学	佳作賞
	『思考力・表現力を高める算数科学習指導の在り方』					
3	上野小学校	教諭	中原 正文	学校教育	特別活動	佳作賞
	『望ましい人間関係を築く児童を育てる高学年特別活動』					
4	糸田小学校	教諭	國本 裕司	学校教育	国語	奨励賞
	『確かな読みの力を育てる第1学年国語科説明的文章の学習指導』					
5	川崎小学校	教諭	高瀬 大輔	学校教育	算数・数学	
	『自分の考えを筋道立てて表現する子どもを育てる第五学年算数科学習指導』					
6	川崎東小学校	教諭	牟田 佳史	学校経営・運営	組織管理	
	『教職員の人権意識の向上や人権課題に関する知識の向上をめざした取組』					
7	上野小学校	教諭	山田 侑子	学校教育	国語	
	『論理的に更新する力を培う第三学年国語科学習指導』					

平成26年度 田川郡教育研究所教育論文 応募者・入賞者

[敬称略]

No.	26年度所属校名	職名	氏名	応募部門	応募内容	受賞
1	川崎東小学校	教諭	安倍 和音	学習指導法	言語活動の工夫	優良賞
	『叙述を根拠に自分の考えを形成し、表現する力を育てる第四学年国語科学習指導』					
2	川崎小学校	教諭	高瀬 大輔	学習指導法	教科指導	佳作賞
	『自分の考えを筋道立てて表現する子どもを育てる第五学年算数科学習指導』					
3	赤小学校	教諭	沖島 美恵子	学習指導法	特別活動	
	『自他ともに認め合える子どもを育てる指導の一方策』					
4	津野小学校	教諭	奥 拓也	学習指導法	教科指導	
	『数学的な考え方を高める第3学年算数科学習指導』					
5	津野小学校	教諭	奥 拓也	学習指導法	教科指導	
	『数学的な考え方を高める高学年算数科学習指導』					
6	添田小学校	教諭	安藤 紗希	学習指導法	言語活動の工夫	
	『論理的に考え、表現する子どもを育てる第五学年算数科学習指導』					
7	川崎東小学校	教諭	牟田 佳史	学校経営・運営	教職員研修	
	『教職員の人権意識の向上や人権課題に関する知識の向上をめざした取組』					
8	金田小学校	教諭	中村 真悟	学習指導法	教科指導	
	『ボールゲームにおける「できる」「わかる」楽しさを味わう児童を育成する体育科指導』					
9	金田小学校	教諭	勇 裕成	学習指導法	教科指導	
	『子どもが分かる・できる算数科学習指導の研究』					
10	金田小学校	教諭	田崎 千香子	学習指導法	教科指導	
	『自ら考え、表現する子どもを育てる算数科学習指導』					
11	赤池中学校	教諭	浅香 結美子	学校経営・運営	特別支援教育	優良賞
	『インクルーシブ教育システムの構築を目指した特別支援教育の推進』					
12	赤池中学校	講師	江田 慎太郎	学習指導法	基礎・基本の徹底	
	『バレーボールにおける基礎・基本の定着を図り、楽しさや喜びを味わう体育の授業』					

学力向上実践校の紹介【中学校】

学力向上を図るための取り組み

大任町立大任中学校

- 本年度の重点
 - 3学期までに4月の学力診断テスト偏差値からの2ポイント以上の向上
 - 目的・方法・価値を共有できる協働性の高い学級集団の育成
 - 居場所と出番がある学級・学年集団の実現
- 学力向上を目指す授業づくり
 - 各教科で単元の中に、表現活動を意識した言語活動を取り入れることで、表現力の向上を目指す授業づくり
 - 学習内容の定着を図る授業
 - 「めあて」と「まとめ」に整合性のある板書
 - 終末段階における学習内容のふり返り
 - 生徒の主体的な学習の推進
 - 生徒の目的意識を大切に授業
 - 生徒同士の学び合いや教え合いの場の設定
- 学力の基礎を培う活動
 - 毎日10分間の補充学習（基礎的な内容の反復、全国学力調査の過去問など）
 - 家庭学習の充実
 - 教科からの課題
 - 自学ノートの提出を徹底
 - 家庭学習の手引き配布
 - 毎朝10分間の朝読書
- 学ぶ意欲・規範意識の向上
 - 凡事徹底（時を守り、場を清め、礼を正す）
 - 道徳教育の充実（自他の大切さを認めることができる生徒の育成）
 - 特別活動の充実（集団や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に取り組む生徒の育成）
- 学力向上推進組織の運営
 - 学力向上推進委員会の月例開催
 - 各学年・各教科の実践、生徒の学力実態の交流
 - 各種テストの分析
 - 学力向上委員会と研究推進委員会の連携推進
- 教員研修の充実
 - 校内研修の計画的実施
 - 主題研修：全教員1回以上の研究授業、協議会の実施
 - 一般研修：授業技術の向上、生徒理解・カウンセリングの技法、表現力を高める授業方法、人権・同和教育、いじめ・不登校、OJTを活用した日常研修等
 - 校外研修への積極的参加奨励（キャリアアップ研修等）

平成26年度 研修員研修会を受講して

『順序を考えながら読む力を育てる第2学年国語科説明的文章の学習指導』 ～教材を、工夫して比較する活動を通して～

糸田町立糸田小学校 教諭 國本 裕司

私は、この研修を受講して、教材研究の大切さを実感しました。仮説を立てて授業を行うためには、事前にかかりの教材研究が必要でした。また、計画的に記録を残しておく必要があると感じました。子どもの変容が見えるデータをたくさん残しておく、具体的な子どもの発言や姿も残しておく、いざ論文を作る時に具体的に説得力のある文章が書けることが分かりました。今回研修で学んだことを、今後の指導や文章を書く時に活かしていきたいと思えます。ご指導ありがとうございました。

『数学的な思考力・表現力を育てる第2学年算数科「数と計算」領域における学習指導』 ～図を活用した言語活動の充実を通して～

福智町立市場小学校 教諭 大久保 香世子

研修の中で、論文の主題や副主題、また研究仮説を決定するまでに大変悩みましたが、目指す子どもの姿や手立てが明確になると、授業実践が楽しくなりました。そして、図や式、言葉を使って立式の根拠を書いたり説明したりすることができるようになった子どもが増えるたびに喜びを感じることができました。研修を通して学んだことをこれからの実践にいかし、子どもたちが「分かった」「楽しい」と感じることができる授業づくりに励んで参ります。

『説得力のある文章表現ができる生徒を育成する国語科学習指導の研究』 ～教材の論理の一般化と活用を図る、「読む」と「書く」をつなぐ指導の工夫を通して～

川崎町立池尻中学校 教諭 上田 苑加

一年間の研修を通して、論文の基本的な書き方、まとめ方から、実践の進め方、検証の行い方に至るまでご指導いただき、非常に学ぶことの多い一年間でした。また、実践を行うことで生徒の課題と向き合うことができ、論文を書くためではなく、生徒の課題を解決するための実践を行うことができたと感じています。この研修で学んだこと、成果と課題を生かし、今後も生徒の課題と向き合いながら、個々の力を伸ばすための授業改善に努めていきたいと思えます。

『生徒の科学的かつ論理的な思考力を育てる理科学習指導の研究』 ～「思考の流れ」に重点をおいた観察・実験レポートの作成を中心として～

福智町立赤池中学校 教諭 毛利 宗史朗

平成26年度研修員として、本研修を受講させていただきました。研修を通して、これまでの自分の教材研究のやり方や教科指導を大きく見直す必要があることに気付かされました。目指す生徒像に近づけるため、「分かる授業とは何か…」ということを日々考えました。研修中は苦しい思いをした期間でもありましたが、その分、自分が成長したと感ぜられる期間でもありました。

最後になりましたが、これまでの自分を見直すことができる貴重な研修の場を与えてくださいました関係の皆様方に心よりお礼申し上げます。

平成27年度 研修員

[敬称略]

No.	所属校名	職名	氏名	教科
1	勾金小学校	教諭	山口 大介	算数
2	上野小学校	教諭	福間 理紗	国語
3	金田中学校	教諭	瀬戸口 真司	理科
4	方城中学校	教諭	植田 泰司	社会

長期研修を終えて

添田町立真木小学校 主幹教諭 神崎 育子

福岡教育大学教職大学院で二年間の研修をさせて頂きました、私にとっては、初めての長期研修でしたが、学校現場では考えられない、数多くのことを学び経験することができました。教職大学院は、「講義・演習」「実習」「課題演習」の3つのカリキュラムで構成されています。主な内容として、「教育の基本姿勢や組織の在り方」に係わる教育論の研究や「今日的な教育課題の解決」に向けて取り組んでいる先進校の視察、また、全国大会の参加、学会での研究発表等、貴重な経験をさせて頂きました。この多くの学びを学校現場で生かすために、今後も自己研鑽と研修に努めていきたいと思えます。貴重な研修の機会を与えて下さった関係の皆様方に心より感謝を申し上げます。

赤村立赤中学校 教諭 田中 祥生

平成24年度～平成26年度、在外教育施設派遣教員としてサウジアラビア、リヤド日本人学校において研修をさせて頂きました。「世界の勇気ある女性賞」を受賞した小酒部さやかさんが受賞の際、『日本のスタンダードは世界のスタンダードではない。』という言葉を残しましたが、教員として、人間としてこの3年間学んだことをこの一言が代弁しているような気がします。イスラム教国家であるサウジアラビアで生活することは、多くのカルチャーショック、苦勞を強いられることになりましたが、英語科教員として国際的視野を広める3年間になりました。この経験を生徒に還元し、「世界に打って出る人材育成」に努めたいと思えます。

福智町立赤池中学校 教諭 大井 善幸

昨年度、福岡県教育センターの教育指導部教科教育班に長期派遣研修員として一年間研修させて頂きました。今までも、授業研究などで指導案を書き教科の研究をしてきましたが、一年を通して理科という教科の本質について考えたのは初めての経験でした。特に主題研修では、目指す生徒の姿にするための手だてや教材の準備など、指導主事の先生方から受けた多くの厳しくも温かい指導の中で、教科の指導の本質をつかむことができたのではないかと思います。

また、一般研修や実務研修などの機会に多くの方と出会いその中で、社会人としてのスキルを磨くことができました。今後はこの経験を生かし、教科の指導はもちろん現場での活動で職場の皆様と一緒にスキルを高める取組を行っていききたいです。

平成27年度 教育実践発表会のお知らせ

◆田川郡教育研究所 教育実践発表会並びに教育論文表彰式・発表会

◇主催：田川郡教育研究所

◇日時：平成27年7月27日 14:30～16:40

◇会場：福智町金田分館（2階）文化ホール

◆筑豊地区教育研究所連絡協議会教育実践発表会

◇主催：筑豊地区教育研究所連絡協議会 [主管：田川市立教育研究所]

◇日時：平成27年8月20日(木) 13:30～16:50

◇会場：田川青少年文化ホール

◆福岡県教育研究所連盟研究発表協議会

◇主催：福岡県教育研究所連盟、南筑後地区教育研究所等連絡協議会

[主管：筑後市教育研究所]

◇日時：平成27年11月20日(金) 12:30～16:50

◇会場：サザンクス筑後、南筑後教育事務所、筑後商工会館